

平成 27 年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	高機能酸塩基複合ナノ触媒の開発
研究代表者	石原 一彰（名古屋大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
審査結果の所見	応募者の酸塩基複合ナノ触媒を用いる高選択的有機合成反応のこれまでの研究は、国際的にも高い評価を受けている。酸と塩基それぞれ別の分子を複合させ、ナノ触媒を形成させる手法は多様性に富み、高エナンチオ選択的反応をはじめとする有機合成化学の新技术として大きな展開が期待できる。複合触媒が生成物に比べて大きくなるという指摘があったが、応募者のこれまでの研究成果に裏付けられた当該研究分野をリードする研究提案であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。